



(財)三重県交通安全協会

交通安全みえ

2009 / 初冬号 No.164

発行所
 (財)三重県交通安全協会
 三重県交通安全活動推進センター
 (三重県公安委員会指定)
 〒514-0004
 津市栄町1-954 三重県栄町庁舎5F
 TEL 059-228-9636
 URL <http://www.mie-ankyo.com>

北から南から ～各地区の活動～

交通安全協会は交通事故をなくすための幅広い活動を行っております。

- 街頭での交通安全指導(学童・お年寄りの街頭保護)
- 新入園、小・中学校への交通安全資材・器材の提供
- 交通安全の広報啓発(新聞・テレビ・広報車)
- 交通安全イベントの開催(交通安全フェスタ等)
- 優良運転者・交通安全功労者(団体)等の表彰
- 交通事故無料相談の開設

桑名地区交通安全協会と
 大台地区交通安全協会の
 効果的活動はP2に
 ズームアップ!



わたしはシンボลมスコット“ストップビー”です。



夜間の自転車事故防止のため啓発活動



近鉄川越富洲原駅前通勤客に広報啓発



河原田町“敬老会”でぬいぐるみ劇



高齢者による高齢者のための高齢者ミルミルウェア



反射材で“光って見せまShow!!”開催



スーパーで自転車点検&ワンポイントアドバイス



“津ドライブスクール”イベントで広報啓発活動



久居駅前で電車・バス利用者に事故防止呼びかけ



市場庄交通少年団と共にドライバーに啓発活動



“伊勢大祭り”で女性部51人が交通安全音頭を披露



軍手を利用!女性役員手作りマスコット



道路の両側でしっかりミルミルウェア



交通安全ポスター市長賞作品を用い、立て看板製作



大好評!女性部による“笑点”で楽しく交通安全教室



赤・黄・青の信号色の忍者服姿で交通事故防止訴え



赤目小学校運動会で交通安全パレード



盲導犬募金贈呈式

平成21年9月30日(水)、(財)中部盲導犬協会に対する“盲導犬募金贈呈式”が、津市高茶屋の三重県立盲学校において執り行われました。
 この募金は交通安全協会が県内の店舗等に、(財)中部盲導犬協会の「ラブ募金箱」の設置協力を求め、現在73箇所に設置されています。今回の募金額は503,700円に上り、盲導犬の育成や交通安全に役立てていただくため、その全額と反射材等交通安全グッズを贈呈致しました。
 また贈呈式後、交通安全教室が実施され、盲導犬の“クオレ”と“チェス”の2頭が、盲学校の生徒4名・アイマスクを着用した関係者らと共に、声で合図を出しながら体験歩行を行いました。

温かいご協力、ありがとうございました。



年末の交通安全県民運動

平成21年12月11日(金)～20日(日)

●運動の重点

1. 高齢者の交通事故防止

ドライバーの皆さんは高齢者の行動特性を理解し、思いやりのある運転を心掛け、また高齢ドライバーの皆さんも、運転・運動能力を自覚し、ゆとりをもって安全運転に努めましょう。

2. 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

後部座席シートベルトの着用が義務化されましたが、着用率はまだまだ低い状況にあります。事故の衝撃や車外放出から身を守るために、全ての座席で正しく着用しましょう。

3. 飲酒運転の根絶

本年6月から飲酒運転、ひき逃げ等の行政処分が強化されました。年末にかけて飲酒の機会も増えますが、ハンドルキーパー運動を推進し、飲酒運転を根絶しましょう。

10月1日～12月31日 「夕暮れ時、ちょっと早めのライト・オン運動」実施中

自動車・自転車は早めにライトを点灯しましょう。 歩行者・自転車は反射材を活用しましょう。

三重県交通安全県民大会開催

- 日時 平成21年12月8日(火) 13:00～16:00
- 場所 津市一身田上津部田1234 三重県男女共同参画センター多目的ホール (三重県総合文化センター内)
- 参加費 無料



スローガン入りポスター募集

- 主催：(財)全日本交通安全協会 毎日新聞社
- 後援：内閣府 警察庁 法務省 文部科学省 厚生労働省 経済産業省 国土交通省 NHK
- 協賛：JA共済連 (社)日本自動車工業会

募集期間	平成21年11月下旬～平成22年1月31日(必着)
募集部門	★一般部門(一般および学生・高校生、小中学生も可。B2判(51.5×72.8cm)タテ型) ★こども部門(小・中学生に限る。四ツ切り画用紙がB3判でタテ・ヨコ自由)
応募要領	・必ず平成22年使用内閣総理大臣賞受賞のスローガンを原文のまま入れ、ひらがなを漢字等に直したり、句読点や括弧等の付加は失格。 ・交通標識は正しく書き入れる。 ・車内の人物にはシートベルト、自転車に乗った児童や幼児にはヘルメットを着用。 ・パソコンを利用して描いたものも可。
応募方法	・応募は一人何点でもよく、多数の共同作品でも可。自作・未発表のものに限る。 ・ポスター作成の際加筆修正することがある。 ・住所、氏名、生年月日、職業(学校名)、電話番号を明記した応募票(自作可)を作品の裏面に貼付。 ・学校から一括応募の場合は、必ず学校の連絡先と応募者リストを添付。
発表	平成22年3月中旬
賞	内閣総理大臣賞 内閣府特命担当大臣賞 警察庁長官賞 文部科学大臣奨励賞 全日本交通安全協会会長賞 毎日新聞社賞 佳作 ※小・中学生の応募者全員に参加賞。

※平成22年使用スローガンは、平成21年11月下旬、毎日新聞紙上およびNHKテレビ・ラジオで発表されます。
 ※入賞作品の著作権等一切の権利は主催者に帰属するものとし、応募作品は返却しません。

応募先 〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 毎日新聞東京本社事業本部「交通安全ポスター」係 ※お問い合わせは TEL 03-3212-1673 まで

反射材フェア in みえ

平成21年
10月24日(土)・25日(日)



平成21年10月24日(土)・25日(日)の2日間『反射材フェアinみえ』が開催され、1日目は津市の“メッセウイング・みえ”、2日目は南北に長い三重県の地形に合わせ“桑名・四日市・鈴鹿・松阪・伊賀・尾鷲”の県内6会場で行われました。このフェアは反射材の普及促進により、多発する薄暮や夜間の歩行者・自転車利用者等の交通事故防止と、県民の皆さんに体験することを通じ交通事故から身を守る行動を浸透させることを目的とするもので、東京以外の開催は、愛知県・広島県・宮城県に次いで4回目となりました。

オープニングセレモニーでは、反射材の着用により交通事故ゼロを願う『交通安全の輝き広げ隊』の隊長任命式が行われ、“ストップビーちゃん・ミーポくん・エムととくん・ビツとちゃん・しん坊くん・コチラちゃん・にん太くん”と、三重県を代表するキャラクターが勢ぞろいし、2日目に県内の各会場に向かい「交通安全の輝き」を多くの方に広めるため、隊長に任命されました。

【着けよう反射材!!防ごう夜間の交通事故】をキャッチフレーズに、1日目のステージでは反射材の着用効果を実感できる様々な催しが行われました。中でも反射材を活用したファッションショーは、その効果が分かりやすく誰もが反射材を身近に感じ、生活に取り入れてみようという思いになった方も多かったのではないのでしょうか。ウォーキングや自転車に乗るときはもちろん、子ども達のランドセル・傘・ネクタイなど様々なシーンに合わせて、色々な使い方・見せ方が出来ます。会場では、反射材グッズの展示や販売も行い、多くの方が実際に手に取り、興味を持ったようでした。

★交通安全の輝き広げ隊★



自転車にも★ ウォーキング中も★ ランドセルにも★ 雨の日も★ ネクタイ・カバンにも★



その他にも、反射リストバンドを身に付けた津市の大川幼稚園年長児の鼓笛隊演奏や衣装に反射材を取り入れた津まつりでもお馴染みの“極津(ごっつ)”のよさこい、四日市南地区交通安全協会女性部の交通安全劇、子ども達に大人気の“レスキューフォースR1”の交通安全クイズショーなど、子どもから高齢者まで楽しんで学べるイベントが繰り広げられました。屋外でも、夢のフォーミュラマシン“コチラレーシングF E810”の展示やシートベルト効果体験など様々なコーナーが設けられ、キャラクター達も場内を回遊して多くの来場者と触れ合い、「交通事故ゼロの願いと交通安全の輝き」を2日目へと繋ぎました!



県内いっばいに広げよう!★交通安全の輝き★

2日目には『交通安全の輝き広げ隊』隊長に任命されたキャラクター達が県内6会場に出向き“メッセージ”と“反射タスキ”を届けました。各会場では「子ども約束免許証」や「キーホルダー」の作成、飲酒ゴーグル体験のほか、パトカーや白バイの展示などが行われました。

この『反射材フェアinみえ』を通じて、反射材の新たな活用方法の発見や生活に取り入れるきっかけを見つけ、積極的に着用していただける『交通安全の輝き広げ隊』隊員が増えることを願っています。



10/25 県内6会場

- 桑名…マイカル桑名
- 四日市…イオン四日市北ショッピングセンター
- 鈴鹿…イオンモール鈴鹿ベルシティ
- 松阪…松阪ショッピングセンターマーム
- 伊賀…アピタ伊賀上野店
- 尾鷲…ジャスコ尾鷲店

大台地区交通安全協会

高齢者用更新通知ハガキに一工夫!
～イラスト掲載で優しい印象に～



大台地区では8月1日から、70歳以上の高齢者用更新通知ハガキの文面を簡潔化し、余ったスペースにイラストの掲載を始めました。これは生徒及び高齢者の交通安全意識の高揚に繋がればと、県立昂学園高等学校の美術工芸系列の生徒が取り組みました。第一弾は写真の2作品で、いずれも色鉛筆で描かれており優しい印象です。今後は複数の生徒に描いてもらい、3ヶ月に1回程度イラストを替えていく予定です。

桑名地区交通安全協会

小学校運動会で“のぼり旗バトン”で交通安全リレー!



桑名市立城東小学校の運動会に、城東支部役員と女性部が参加し、運動会の競技種目として「交通安全リレー」を行いました。これは高齢者と低学年の生徒がペアになり、のぼり旗をバトン代わりにして、役員が立っているポイントで「止まって左右確認」をして進み、次のペアにリレーしていくもので参加者は楽しそうに臨んでいました。また、女性部が保護者に啓発品を手渡し、交通事故防止を呼びかけました。



秋の全国交通安全運動期間中の事故発生状況 9月21日～9月30日

	平成21年	平成20年	増減数
総事故件数	1,639	1,571	+68
人身事故	260	285	-25
死者数	4	5	-1

『秋の全国交通安全運動』期間中の死者数は4件4人(前年同期比-1人)で、死亡した4人は全員高齢者でした。飲酒運転による死亡事故はなく、9月30日の「交通事故死ゼロを目指す日」における死亡事故もありませんでした。全国の運動期間中の死者数は133人でした。

楽しく学ぼう!交通安全学習フェスタ

10月17日(土) ～ 三重県交通安全研修センター ～

平成21年10月17日(土)、三重県交通安全研修センターにおいて、“わくわく ときどき 体験しよう!”をテーマに屋内・屋外施設を一日開放し、『楽しく学ぼう交通安全学習フェスタ』が開催されました。開会式では、清泉幼稚園の年長組園児が元気に「交通安全のお約束」宣言を行い、一生懸命練習してきた鼓隊発表がありました。次いで、津商工会議所青年部“元氣玉”による和太鼓演奏が行われ、開会式を盛り上げました。



研修センター施設内での体験のほか「子ども約束免許証」や「ストップキーホルダー」の作成、ミニ警察官制服で記念写真撮影、パトカー試乗、ストラックアウトなど様々な体験を楽しむことが出来ました。また、各地区交通安全協会女性部による人形劇やコント・踊りの披露、交通安全モデル指定校である三重県立四日市四郷高等学校クラシックギター部による演奏など、笑いや感動いっぱい、ショーが繰り広げられました。また、三重県立相可高等学校の“エコ弁当”や社会福祉法人夢の郷 クローバーハウスの“さとのパン”も販売され、瞬間に完売となりました!来年も、多くの方に楽しんで交通安全を学んでいただけるフェスタを考えておりますので楽しみに!